

商品名 ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒（医療用） 添付文書情報

一般名	牛車腎気丸エキス顆粒	薬価	17.70
規格	1g	区分	
製造メーカー	ツムラ	販売メーカー	ツムラ
薬効	5. 生薬及び漢方処方に基づく医薬品 52. 漢方製剤 520. 漢方製剤 5200. 漢方製剤		

ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒（医療用）の組成・成分

1日量7. 5g中

ジオウ：5

ゴシツ：3

サンシュユ：3

サンヤク：3

シャゼンシ：3

タクシャ：3

ブクリョウ：3

ボタンピ：3

ケイヒ：1

ブシ末：1

以上のエキス：4.5g

ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒（医療用）の用法・用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒（医療用）の効能・効果

疲れやすくて、四肢が冷えやすく尿量減少または多尿で時に口渇がある次の諸症：下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ。

ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒（医療用）の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

1. 重大な副作用：

- 1) 間質性肺炎（頻度不明）：咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音異常等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線、速やかに胸部CT等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、咳嗽、呼吸困難、発熱等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。
- 2) 肝機能障害、黄疸（いずれも頻度不明）：著しいAST上昇、著しいALT上昇、著しいALP上昇、著しいγ-GTP上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。

2. その他の副作用：

- [1] 過敏症：（頻度不明）発疹、発赤、そう痒等。
- [2] 消化器：（頻度不明）食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹部膨満感、腹痛、下痢、便秘等。
- [3] その他：（頻度不明）心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ等。

ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒（医療用）の使用上の注意

【重要な基本的注意】

1. 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
2. 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意し、ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

【合併症・既往歴等のある患者】

1. 体力の充実している患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
2. 暑がりでのぼせが強く赤ら顔の患者：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。
3. 著しく胃腸虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹部膨満感、腹痛、下痢、便秘等があらわれることがある。
4. 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

【妊婦】

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないことが望ましい（本剤に含まれるゴシツ、ボタンピにより流産の危険性があり、またブシ末の副作用があらわれやすくなる）。

【授乳婦】

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

【小児等】

慎重に投与すること（本剤にはブシ末が含まれている）。

【高齢者】

減量するなど注意すること（一般に生理機能が低下している）。

【取扱い上の注意】

1. 本剤の品質を保つため、できるだけ湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
2. 開封後は特に湿気を避け、取扱いに注意すること。
3. 本剤は生薬を原料としているので、色調等が異なることがある。

【保管上の注意】

室温保存。



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.